



2022年11月29日

株式会社 阿波銀行

ヤマク食品株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、ヤマク食品株式会社（代表取締役 久次米 貴史、本社：徳島県板野郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	ヤマク食品株式会社
所在地	徳島県板野郡藍住町奥野字乾 170 番地の 1
代表者	久次米 貴史
業種	味噌製造業
設立	1965 年 10 月 29 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の 3 側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年11月29日



ヤマク食品株式会社 代表取締役 久次米 貴史

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	多様な人材活用	性別、国籍、年齢、人種、出身、宗教などによる差別の禁止を目的に、多様な人材が活躍できる環境の整備に努めます。	① (1)社内の規程・方針の見直し (2)採用条件等を見直し (3)社内教育を通じた周知		
			② (1)2025年までに規程・方針を見直し、全社員へ通知 (2)2030年までに新規女性雇用者5名 (3)社内教育研修を年1回実施		
社会	従業員のウェルビーイングの向上	心身共に健康で、働きがいをもって働けるよう、社員の健康の維持に努めるとともに、持続可能な働き方の実現をサポートします。	① (1)ストレスチェックの実施 (2)健康診断の年度平均受診率の向上 (3)健康プログラムの提供		
			② (1)ストレスチェックの実施率100% (2)全社員の健康診断100%実施 (3)毎日ラジオ体操実施		
社会・経済	顧客ニーズや課題の把握・改善	製品・サービスに関する顧客の意見やニーズを積極的に収集し、改善検討を行う経営を目指します。	① 顧客の声を製品・サービスに反映させる仕組み構築		
			② 2028年までに担当者・担当部署選定		
社会・経済	社内の声の把握	一体感のある経営をめざして社員の声を積極的に収集し改善検討を通してスパイラルアップする組織を目指します。	① (1)コンプライアンスやハラスメントに関する相談・通報窓口の設置 (2)社員との定期的な対話		
			② (1)2023年度までに窓口設置完了 (2)年1回の社員面談の実施		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

